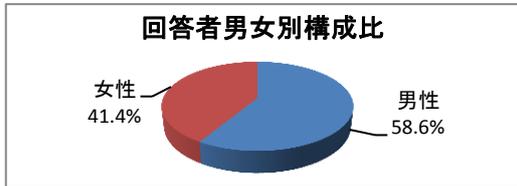


# 平成27年度第1回モニター定期アンケート調査集計結果

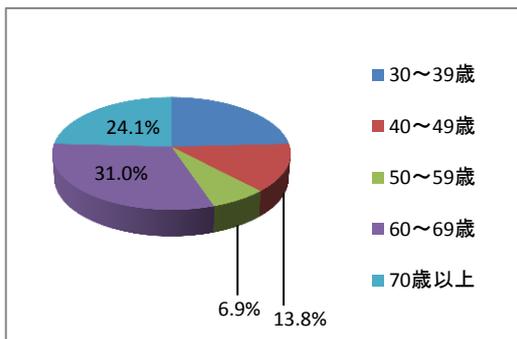
<平成27年7月実施>

## 【回答者数、回答率、構成比】



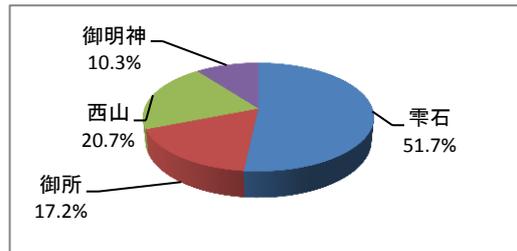
性別	モニター数	回答数	回答率	回答者構成比
男性	18人	17人	94.4%	58.6%
女性	13人	12人	92.3%	41.4%
計	31人	29人	93.5%	100.0%

## 【回答者年齢層別構成比】



年齢層	男性	女性	計	構成比
20~29歳	0人	0人	0人	0.0%
30~39歳	3人	4人	7人	24.1%
40~49歳	3人	1人	4人	13.8%
50~59歳	2人	0人	2人	6.9%
60~69歳	5人	4人	9人	31.0%
70歳以上	4人	3人	7人	24.1%
計	17人	12人	29人	100.0%

## 【回答者地区別構成比】



地区	男性	女性	計	構成比
雲石	11人	4人	15人	51.7%
御所	2人	3人	5人	17.2%
西山	3人	3人	6人	20.7%
御明神	1人	2人	3人	10.3%
計	17人	12人	29人	100.0%

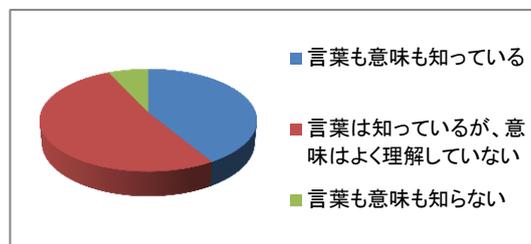
## 【調査テーマ】

### 『ユニバーサルデザインについて』

町では、平成26年3月に「第二次雫石町ユニバーサルデザイン計画」を策定し各事業に取り組んでいるところです。この計画は社会情勢の変化や地域の実情を把握し、必要に応じて見直しをすることとしており、ユニバーサルデザインに対する皆様の関心や理解を把握し的確に反映させるためアンケート調査を実施するものです。

#### 問1. あなたは、『ユニバーサルデザイン』という言葉と意味を知っていますか。

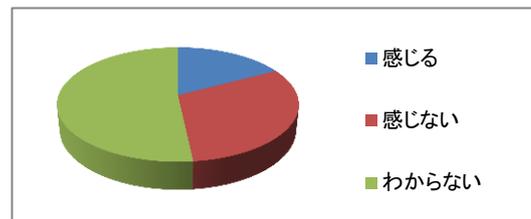
項目	回答数	構成比
言葉も意味も知っている	12人	41.4%
言葉は知っているが、意味はよく理解していない	15人	51.7%
言葉も意味も知らない	2人	6.9%
計	29人	100.0%



「言葉は知っているが、意味はよく理解していない」と回答した割合が51.7%で最も高く、「言葉も意味も知っている」が41.4%となっている。

#### 問2. あなたは、雫石町内にある施設（公共施設のほか民間施設含む）や、町民の精神的な面でユニバーサルデザインが進んでいると感じますか。

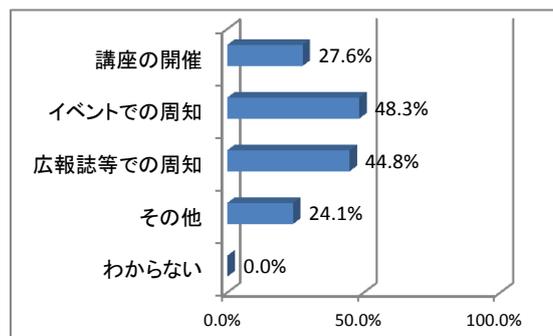
項目	回答数	構成比
感じる	5人	17.2%
感じない	9人	31.0%
わからない	15人	51.7%
計	29人	99.9%



「わからない」と回答した割合が51.7%で最も高く、「感じない」が31.0%、「感じる」が17.2%となっている。

#### 問3. ユニバーサルデザインを広く町民に理解してもらうために、どのような取り組みをすれば良いと思いますか。

項目	回答数	構成比
講座の開催	8人	27.6%
イベント（軽トラ市、産業まつりなど）を利用した周知	14人	48.3%
広報誌・HPを利用した周知	13人	44.8%
その他	7人	24.1%
わからない	0人	0.0%
計	42人	



「イベント（軽トラ市、産業まつりなど）を利用した周知」と回答した割合が48.3%で最も高く、次いで「広報誌・HPを利用した周知」44.8%の順となっている。

## 【調査テーマ】

### 『マイナンバー制度について』

マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)は、住民票を有する全ての方に1人1つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるものです。

そこで、マイナンバー制度は行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現するための社会基盤であることから、その認知度について調査を実施するものです。

#### 問4. 『マイナンバー制度』についてご存じですか。

項目	回答数	構成比
どのような制度か知っている	14人	48.3%
名称を聞いたことがある程度で、内容までは分からない	14人	48.3%
名称も内容もまったく知らない	1人	3.4%
計	29人	100.0%

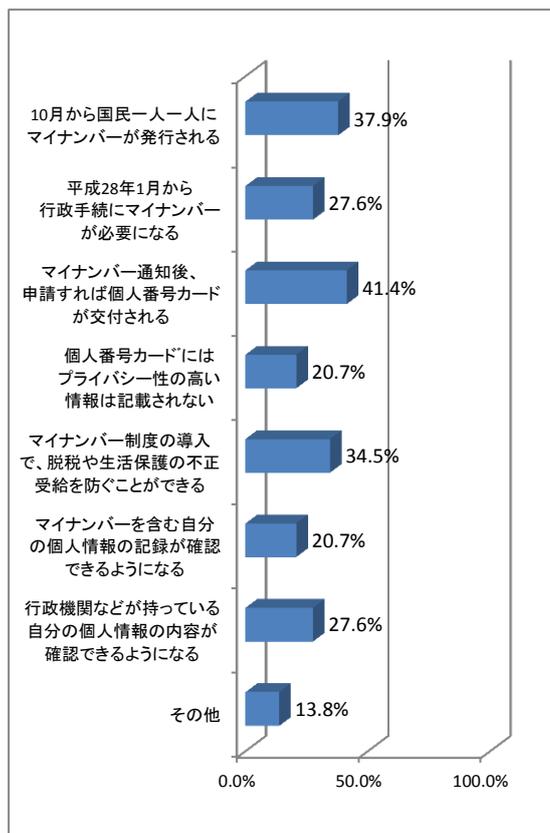


「どのような制度か知っている」「名称を聞いたことがある程度で、内容までは分からない」と回答した割合が共に48.3%でほぼ半数となっている。

#### 問5. 問4で「1. 知っている」と回答した方にお尋ねします。

『マイナンバー制度』について知っている内容をすべて選んで下さい。(複数可)

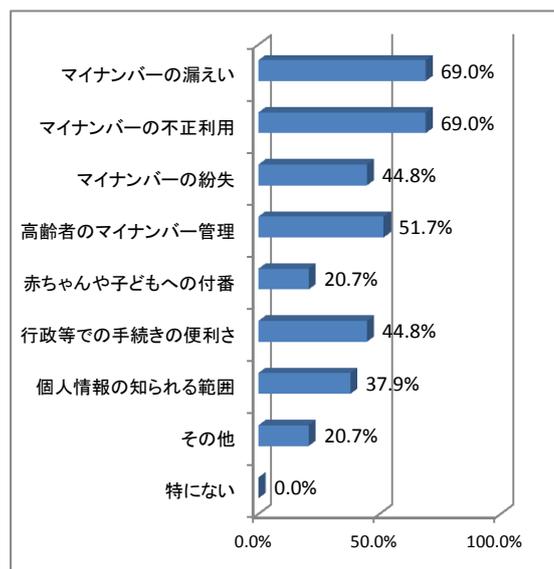
項目	回答数	構成比
10月から住民票を持つ国民一人一人にマイナンバーが発行される	11人	37.9%
平成28年1月から、社会保障・税・災害対策の行政手続にマイナンバーが必要になる	8人	27.6%
マイナンバー通知後、申請すれば、身分証明にも使える個人番号カードが交付される	12人	41.4%
個人番号カードには所得や病歴などプライバシー性の高い情報は記載されない	6人	20.7%
マイナンバー制度の導入で、脱税や生活保護の不正受給を防ぐことができる	10人	34.5%
マイナンバーを含む自分の個人情報がやりとりされた記録が確認できるようになる	6人	20.7%
行政機関などが持っている自分の個人情報の内容が確認できるようになる	8人	27.6%
その他	4人	13.8%
計	65人	



「マイナンバー通知後、申請すれば、身分証明にも使える個人番号カードが交付される」と回答した割合が41.4%で最も高く、次いで「10月から住民票を持つ国民一人一人にマイナンバーが発行される」の37.9%となっている。

問6. 『マイナンバー制度』について疑問や不安に思う事があれば選んでください。（複数可）

項目	回答数	構成比
マイナンバーの漏えい	20人	69.0%
マイナンバーが不正利用される	20人	69.0%
マイナンバーを紛失したらどうするか	13人	44.8%
高齢者のマイナンバーの管理	15人	51.7%
赤ちゃんや子どももマイナンバーを持つのか	6人	20.7%
行政などでの手続きが本当に便利になるのか	13人	44.8%
個人情報がどこまで知られるのか	11人	37.9%
その他	6人	20.7%
特にない	0人	0.0%
計	84人	



「マイナンバーの漏えい」と「マイナンバーが不正利用される」と回答した割合が共に69.0%で最も高く、次いで「高齢者のマイナンバーの管理」51.7%の順となっている。